

2021 年度 最終 1 月 早慶上理・難関国公立大模試 地理 B 採点基準

1 単答記述問題

- ① 誤字、脱字、漢字間違いは 0 点。
- ② 漢字で書くべき用語（例：扇状地）をひらがなで書いてある場合は 0 点。
- ③ 日本の地名（例：茨城県）については漢字で正確に書かれていなければ 0 点。
- ④ 中国・韓国の地名（例：ペキン（北京））については、漢字・カタカナのいずれかで正しく書かれていれば正解とする。
- ⑤ その他の地名や地理用語について、スロヴェニア⇄スロベニア、パキスタン⇄パーキスタンといったカタカナ表記の通念の範囲内での異体に関しては正解と認める。

2 論述問題

以下の設問別加点基準で加点（その他各問題の主旨に適した解答には、適宜加点。ただし、満点は超えない。）



以下の共通減点要素で減点

共通減点要素

- ① 加点要素に関わる誤字脱字および漢字の間違いは 1 点減点。
- ② 字数オーバーは 0 点
- ③ 明らかに文章の構成が誤っている場合、論理が合わない場合などは 1 点減点。
- ④ 指定語句に下線をつける問題で、下線が引き忘れてある場合は 1 問につき 1 点減点。（指定語句は、解答中のどこかで使用していればよい。
加点ポイントの脱落による減点がある場合は、指定語句抜けの減点は不要。）

（*減点しなくていい要素，その他の注意）

- ① 加点要素以外で誤った記述があった場合、その部分は 0 点だが、減点はしない。
- ② 文章が未完のものは減点しない。
- ③ 以下の基準における加点項目は、内容的に整合性が取れていればよく、字句の順序や表現は必ずしも完全に一致していなくてもよい。

3 採点記号

| | | |
|---|---------------|-----------|
| 1 | <□□□□> | 加点ポイント |
| 2 | <u>□□□□</u> x | 事実に誤認あり |
| 3 | <u>□□□□</u> ? | 文意不明 |
| 4 | □□✓□□ | 誤字あり／脱字あり |

4 設問別加点要素

- 1) 部分は必須キーワードであり、この表現がなければ加点しない。その他は同義であれば加点する。
- 2) ○○／△△ は「○○でも△△でも可」を意味する。
- 3) 「② (①の説明として)」は、加点ポイント①を正解していなくても、加点ポイント②に該当すれば加点する。
- 4) 「 A 」と「 B 」→1点 は、「 A 」と「 B 」の両方の要素があれば1点加点する。

2

問1 A 広域中心都市／地方中枢都市／地方中核都市 →2点

問2 5点

国内外からの資本が一都市に集中的に投下されて産業が発達するため、就業機会を求めて多くの人が集まる。

【加点ポイント】

- ① 資本が一都市に集中的に投下される／多くの都市を発達させる財力に乏しい
／首都のみに産業が集中する →2点
- ② (①により) 就業機会を求めて多くの人が集まる／雇用機会が多い
／農村の余剰労働力が集まる →3点

問3 10点

卸売業の商圏は広いと、福岡市という広域中心都市を有するDの福岡県で販売額が大きい。一方、小売業の販売額は人口規模と正の相関関係にあるため、東京都に次いで人口が多いEの神奈川県で値が大きい。

【加点ポイント】

- ① (Dの県名) 福岡県 →2点
- ② (①の判断理由) ※①の正解を加点の前提とする
 - ・卸売業の販売額が大きい／卸売業の商圏は広い →2点
 - ・広域中心都市を有する／福岡市は九州の中核都市である →1点
- ③ (Eの県名) 神奈川県 →2点
- ④ (③の判断理由) ※③の正解を加点の前提とする
 - ・小売業の販売額が大きい →2点
 - ・小売業の販売額は人口規模と正の相関関係にある
／人口が多いと小売業の販売額も多くなる
／神奈川県は東京都に次いで人口が多い →1点

3

問 4 9 点

Xは日本が輸入する原油の大半が通過するが、周辺国は政情不安定で紛争も多く、封鎖などが懸念される。YはZを経由するよりも輸送費を節約できるが、水深が浅く大型タンカーが通過できないうえ、海賊も頻発する。

【加点ポイント】

① (Xの問題点)

- ・周辺国は政情不安定／周辺国は紛争が多い →2 点
- ・封鎖が懸念される／航行不能となる可能性がある →1 点

② (Yの問題点)

- ・水深が浅い／大型タンカーが通行できない →3 点
- ・海賊が頻発する／海賊の不安がある →3 点

問 5 4 点

国際線の路線や便数などを民間航空会社が自由に決められるようになり、航空会社間の自由競争によるサービス向上が期待される。

【加点ポイント】

① (規制緩和により) 路線／便数／運賃 などが自由に決められる

／航空会社間の自由競争が激しくなる →2 点

② (①の影響) 利用者へのサービス向上／路線や便数の増加による利便性の向上

／航空運賃の低下 →2 点

問 6 4 点

携帯電話は固定電話やインターネットに比べて設備投資が少なくすむ。また、文字を読むことができない人でも利用が可能である。

【加点ポイント】

① (携帯電話は) 設備投資が少なくすむ／回線の敷設が不要である

／基地局の設置だけで済む →3 点

② (インターネットと比べて) 文字を読むことができない人でも利用が可能

／識字率の影響を受けにくい →1 点

4

問1 B スノーウィーマウンテン計画（「ズ」抜け）→△1点

問5 3点

掘り抜き井戸で被圧地下水をくみ上げる。

【加点ポイント】

- ① 被圧地下水を利用する →2点
(※「地下水」のみ →1点)
- ② (①の取水方法) 掘り抜き井戸 →1点 (※「堀」→×)

問6 3点

季節が正反対の日本の端境期に出荷できる。

【加点ポイント】

- ① 日本の端境期に出荷できる／日本で品薄な時期に収穫できる →2点
- ② (①の理由) 季節が正反対／南半球に位置する →1点